

平成29年度 第2回十日町警察署協議会議事概要

開催日時	平成29年10月26日（木）午後1時30分から午後4時00分まで		
開催場所	十日町警察署講堂、十日町警察署十日町駅前交番		
出席者	公安委員会	小林公安委員長	
	委員 (定数10人)	樋口会長 尾池副会長 小口委員 志賀委員 高橋委員 増田委員 渡邊委員 渡貫委員 (会長・副会長以下50音順)	
	警察	須田署長 松川副署長 警務課長 山田刑事課長 中嶋交通課長 生活安全係長	
計8人			
計6人			
公安委員長挨拶			
会議に陪席した小林公安委員長から挨拶があった。			
管内の治安情勢			
署長から、平成29年9月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。			
前回の答申事項に対する業務推進状況			
署長から、前回答申した「交通死亡事故抑止対策」の推進状況について説明があった。			
1 飲酒運転防止対策			
(1) 飲酒運転体験ゴーグルを活用しての体験型講習			
(2) 飲酒運転ハザードマップを活用したミニ検問の実施			
2 高齢運転者講習等			
(1) 高齢運転者講習			
桜花レスリング道場の小学生及びF C越後妻有の協力を得て、「キナーレ明石の湯」及び「道の駅まつだい」等において、わたりジョーズ君を活用した体験型高齢運転者講習を実施した。			
(2) 高齢者に対する呼び掛け			
秋の全国交通安全運動期間中、十日町地区安全協会川西支部及び十日町市と連携の上、千手保育園園児の協力を得て、「千年の湯」等を訪れる高齢者に対して夜光反射材を配るとともに交通安全を			



呼び掛けた。

3 「ゾーン30」の広報推進

秋の全国交通安全運動前日、FMとおかまのパーソナリティーを1日警察署長に任命し、十日町市千歳町地内に設定した「ゾーン30」の開所式を実施した。



諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 交通死亡事故抑止対策(継続)

- (1) サポートカーの体験学習
- (2) 交通指導取締り
- (3) 飲酒運転ハザードマップを活用したミニ検問の実施

諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

1 松代地区で交通死亡事故の発生があったとの報告があった。今回の発生場所は以前から事故が多いように思う。何か原因があるのではないか。

- 発生場所は見通しは悪くありませんが、上り下りが連続し、スピードの制御が困難で、加えて微妙なカーブになっており、事故が起きやすい場所だと思います。事故多発地点は重点的に取締りを行います。

2 昨年と比べ、交通事故が増加しているとの報告があったが、地元住民の関与が多いのか、それとも地域外から来ている人が事故を起こしているのか。

- 管内に居住している人が当事者になっている事故が多いです。

答申

十日町警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

質疑・意見等（○は署長等の説明）

1 イオンのATMコーナーに音声で注意喚起する「ボイスポリス」を設置してもらいとても有り難い。特殊詐欺被害防止の上でとても有効だと思う。また、民事訴訟のはがきを送りつける詐欺手口の説明があったが、様々な手口があるようで、詐欺手口の広報もお願いしたい。

- 当署では被害を認知した際、速やかに「FMとおかまち」にお願いし、手口、

概要をお知らせしているところです。今後も、交番・駐在所の広報紙による情報発信を含め積極的に広報をしていきたいと思えます。

速度等取締り指針の策定

署長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

公安委員長講評

小林公安委員長から「交通死亡事故については、県全体では11月から12月に増加する傾向があるが、十日町署管内では発生していない。これは住民一人一人が豪雪地帯という土地柄をよく理解し、注意を払うという意識の高さが表れているのだと思う。」旨の講評があった。

その他



【公安委員長挨拶】



【協議会委員が十日町駅前交番を視察】